

~IPMの普及定着に向けた今後の基本方針~

STEP 1

- ・IPM検討会の開催を開催し、推進すべきIPMの考え方等を整理(IPM実践指針)
- ・導入段階として、農業者自身で実践を確認できる指標を策定(IPM実践指標)

STEP 2

生産現場への導入に当たり、農業者が取り組みやすい環境をどう整えていくか、どのようなサポートを行うべきか

技術的なサポート

生産現場で活用可能なIPMに関する技術情報を提供(指標モデルの追加策定など)

農業者が取り組みやすい環境作り

既存の施策や取組と関連付かせる(環境施策やGAPとの連携など)

消費者等の理解促進

IPMのサポーターを増やし、一層の推進を図る(消費者・流通関係者へのPR)

- ・農業者がそれぞれの農業生産の目的に応じたIPMを組み立て、実践する

これらの取組を進めるに当たっては、国、地方、民間、生産者等の役割分担、課題等を明らかにした工程表により、施策を総合的に推進。

ただし、これらの取組は、国が画一的に決定して進めるのではなく、都道府県、地域及び農業者の自主性に考慮しながら、一体的に進めていく。

STEP 3

- ・将来的には農業者のIPMの取組を科学的根拠に基づき評価できるようにして、環境補助施策への導入を目指す。(STEP 2の を発展させる)